

経営比較分析表／団体全体（令和3年度決算）

福井県 越前市

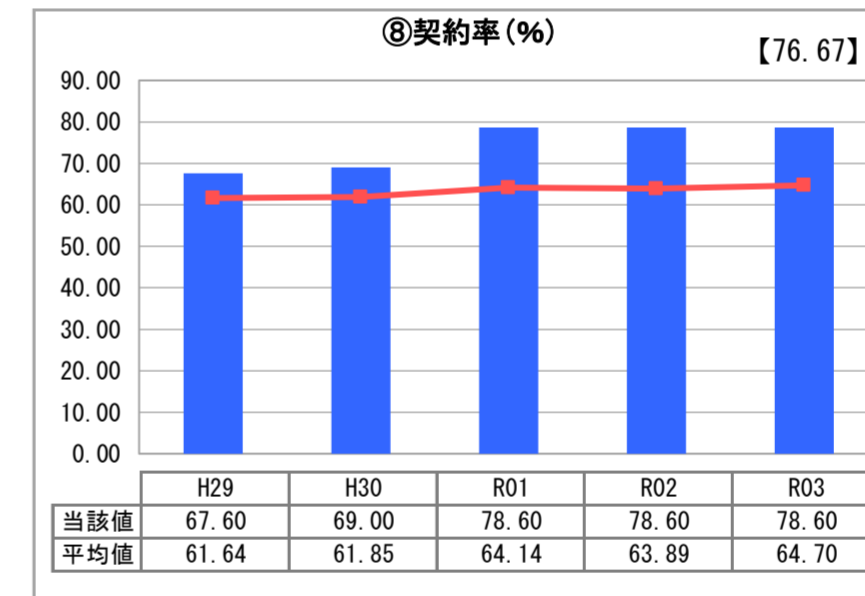
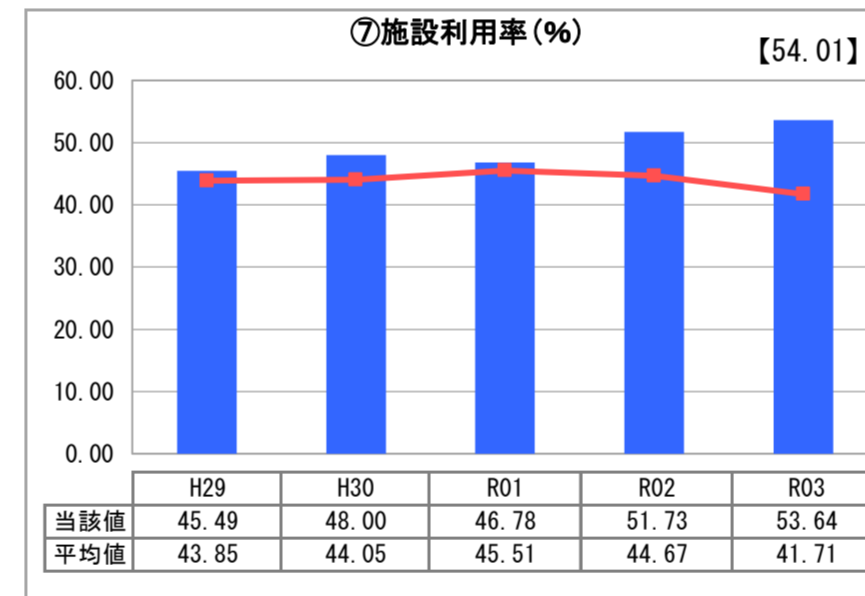
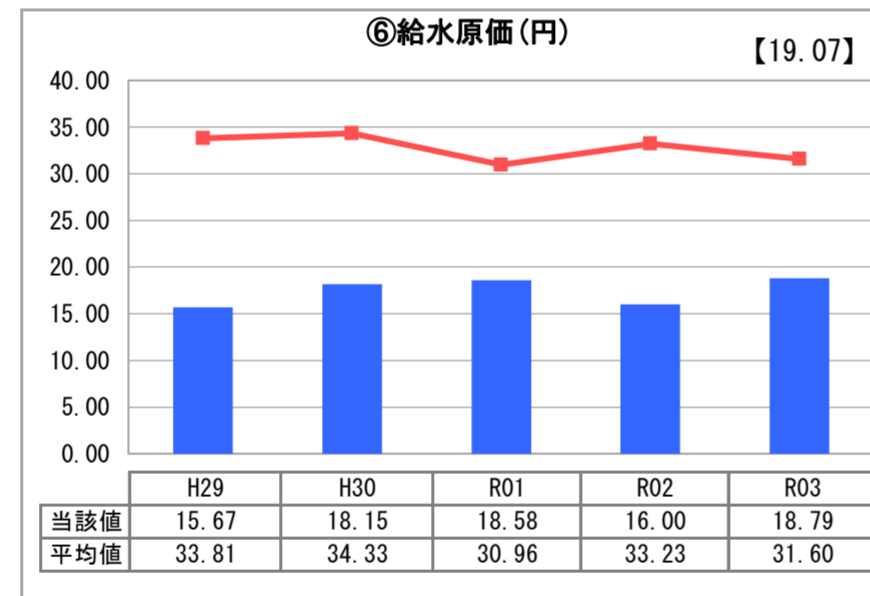
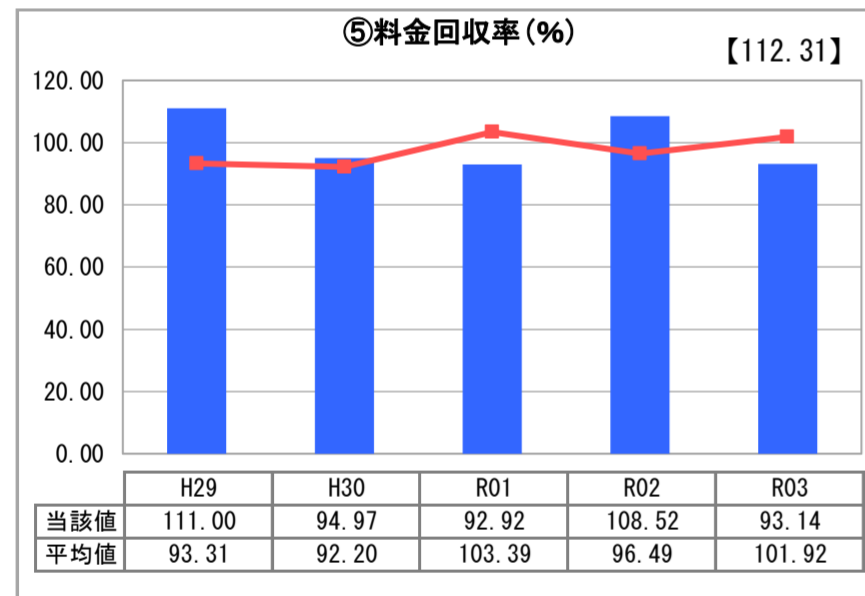
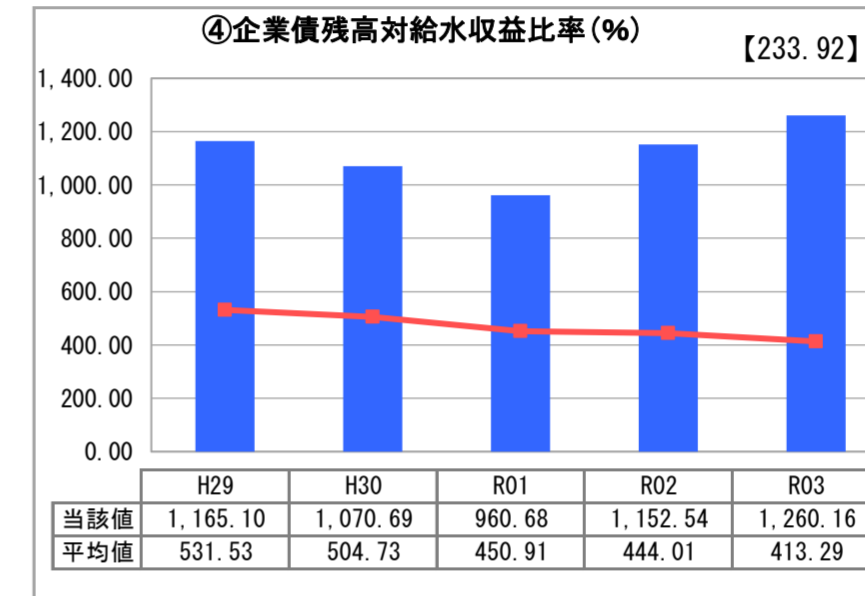
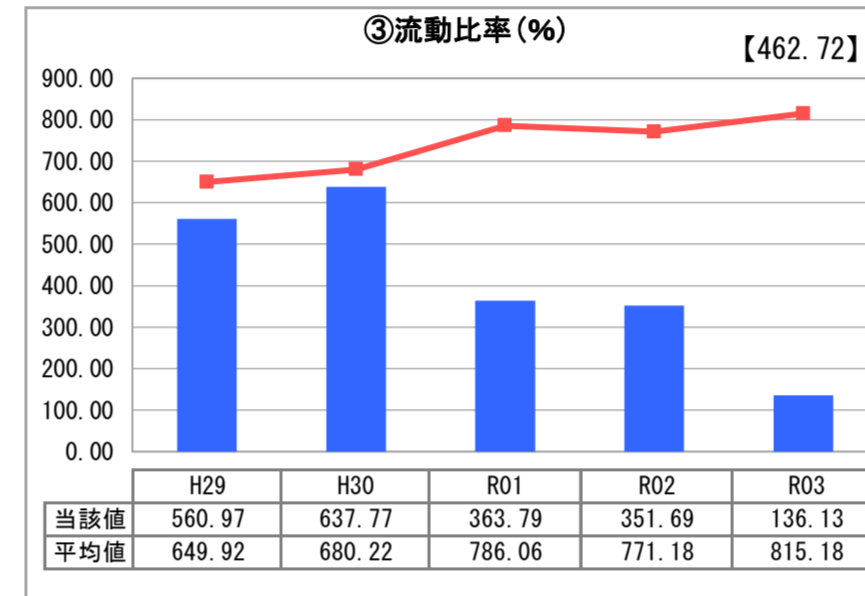
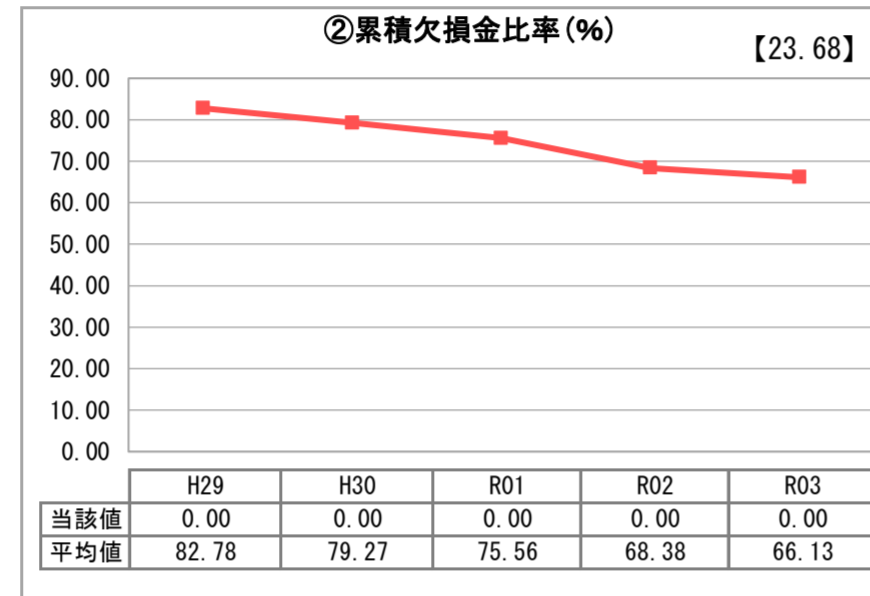
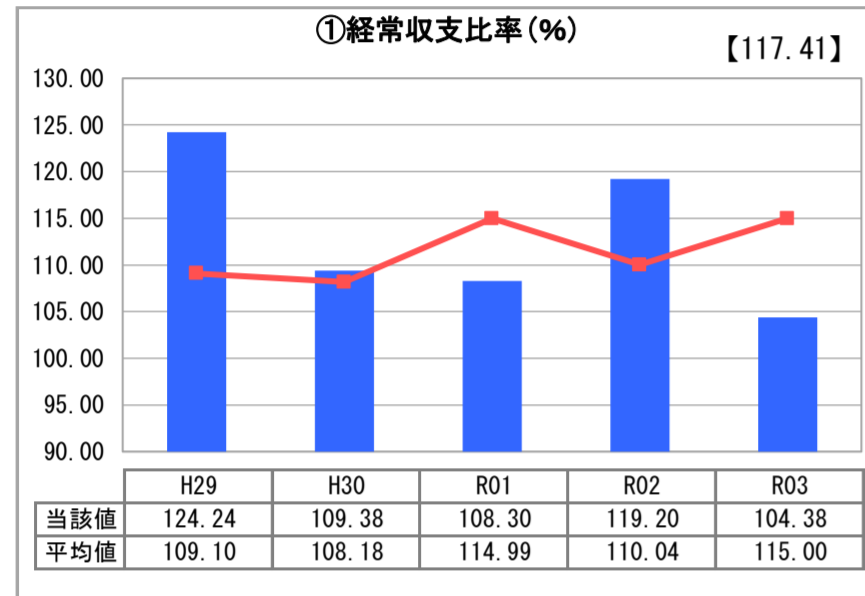
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	10,000	小規模	1	5,364
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	31.2	13	7,860	非設置	

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- [] 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、給水収益が増えたが、経常費用が収益増を上回ったことにより、前年度より下回ったが、100%を上回る水準は維持しており、健全な経営を行っている。

② 累積欠損金比率は、0%を維持しており、低廉な工業用水を安定的に供給することで、地域産業の振興発展に寄与した健全な経営を行っている。

③ 流動比率は、令和元年度から令和4年度にかけて管路増強工事等の大規模工事を実施していることから流動資産が減少したため、前年度を下回っている。

④ 企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均値と比べて高い水準を維持している。投資規模に比べ料金水準が低いことが原因であるため、料金の見直しを検討していく。

⑤ 料金回収率は、前年度を下回り、給水収益で給水費用を賅えていない状態である。今後見込まれている管路・設備の更新費用を考慮して、経営健全化に努めていく。

⑥ 給水原価は、類似団体平均値と比べ低い水準を維持している。

⑦ 施設利用率は、類似団体平均値と比べ上回っており、引き続き実用量を考慮した効率的なポンプの稼働に努めていく。

⑧ 契約率は、類似団体平均値と比べて上回っているが、契約水量と実用量が乖離していることから、使用実績に合った契約水量に見直しを検討していく。

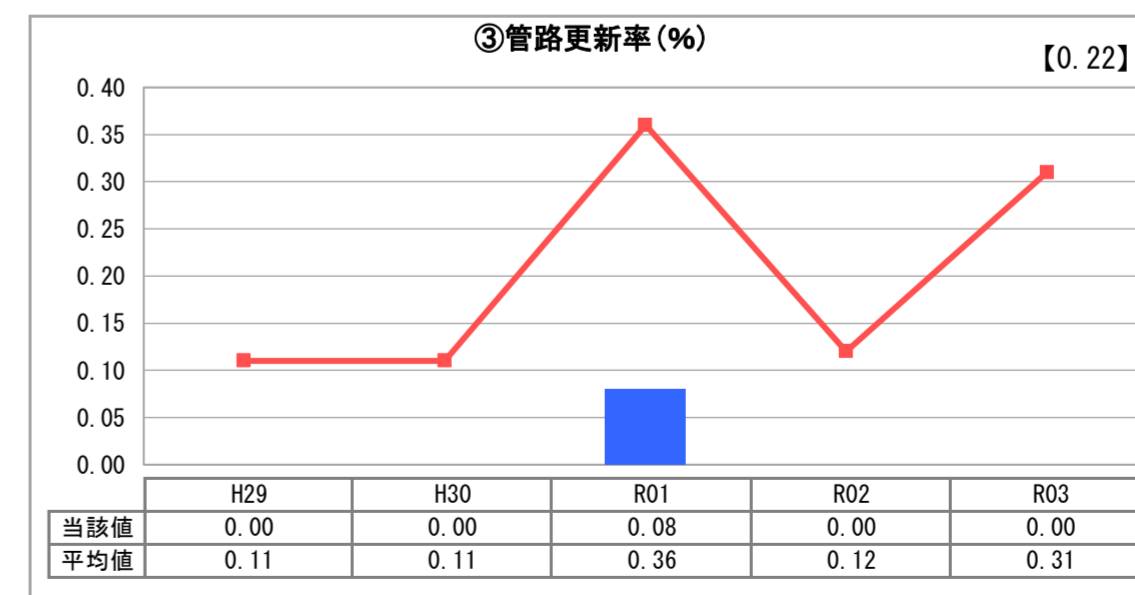
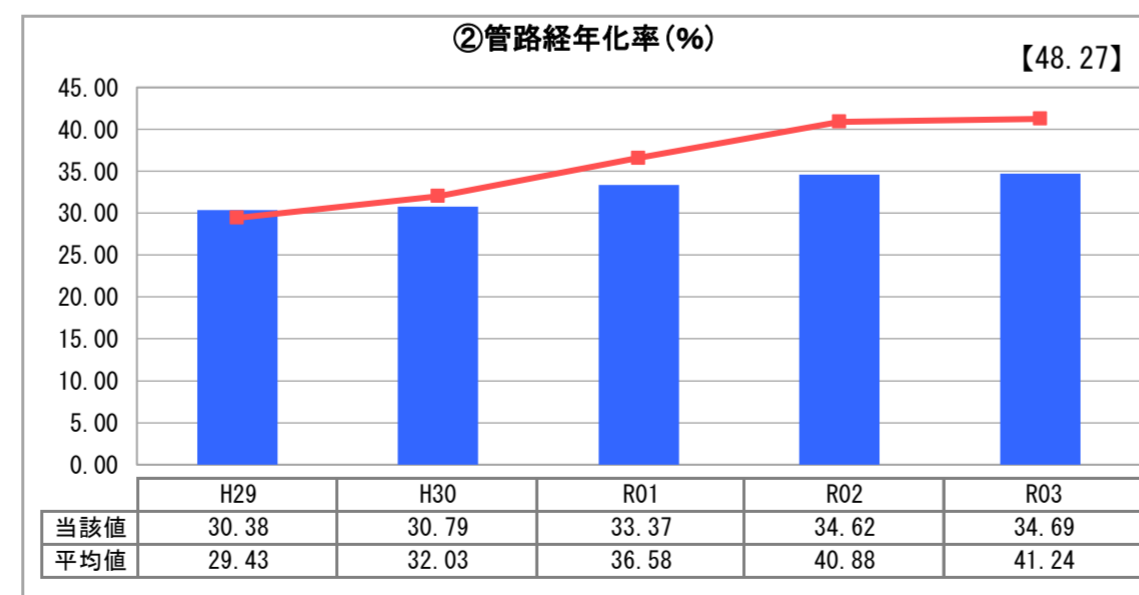
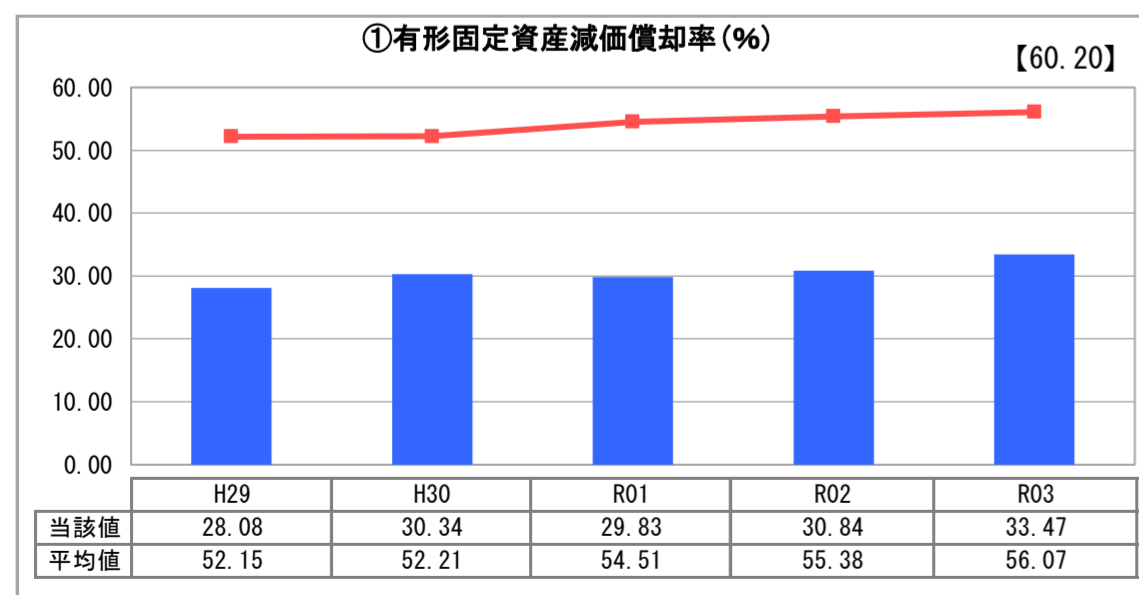
2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値と比べ大きく下回っており、引き続き設備の更新を計画的に行っていく。

② 管路経年化率は、類似団体平均値と比べ下回っているが、法定耐用年数を超過した管路が増えていることから、財源の確保や経営状況を踏まえて計画的に更新を進めていく。

③ 管路更新率は、類似団体平均値と比較して下回っており、今後の更新投資の見通しを立てて、計画的に管路の更新を進めていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

本市の工業用水道事業は、現在の経営状況では、老朽管等の更新に充てる財源確保が厳しい状況である。また、投資規模に比べ料金水準が低いことから、事業規模に対する負債の割合が大きい。中長期的視点に立って、適切な投資・料金水準を検討し、効率的な財政運営、健全な経営に努めていく。